



野口昌作 議員

【野口】平成24年度は森田町政の最終年度である。大山町への思いが、どう予算に表れているか。

【町長】農林水産業や観光、住民と行政が

最終年度の 予算編成は？

町長 防災と住民参画

連携し一体となった地域活性化と、子育てや福祉の充実に向けた予算編成をした。

【野口】最も思いを入れた予算は何か。

【町長】「24年度にスタートする新事業の運営」「災害に強いまちづくり」「若者定住の取り組み強化」「住民参画によるまちづくり、まちづくりの推進」である。



名和地区の小竹集落の祭り

恵みの里公社の 補助金は？

町長 要望を査定

【野口】大山恵みの里公社は、専務・工場長などがつぎつぎとやめ、混迷を深めている。

【町長】退職が続いたことは残念だが、混迷ではない。

【野口】公社がやるべき仕事は。

【町長】大山恵みの里づくり計画の中に規定されている取り組みが、公社の任務である。

【野口】平成23年度、専務理事が台湾・シンガポールに6回出張し256万円の費用を使っていることの評価は。

【町長】必要性があり、事業計画にのせ、予算計上している。

【野口】平成24年度も同じ取り組みに補助を出すのか。

【町長】公社からの要求を査定している。

山香荘の レストラン計画は？

町長

起業家を募集し 進めている

【野口】山香荘に食の魅力づくりを計画し、起業家を募集した。プレゼンテーションをし、現在2組が候補であるが詳細は。

【町長】1組は、大阪に住んでいる大山町への移住希望の夫婦。

こだわりコーヒーを中心としたカフェレストランを開設し、野菜を中心としたメニューを提供する企画。もう1組は、米子市を拠点としたグループで、イタリア野菜を栽培し、本格的なイタリアンを安価に提供するだけでなく、野菜を全国に販売するような企画。

【野口】募集要項で、起業直後の経営支援として「人件費助成・家賃免除」などがあったが。

【町長】神田地区で、いきなり採算に合う事業は困難。具体的には、今後の検討課題である。

【野口】事業の中途放棄の禁止などあったが。

【町長】中途半端で投げ出すなど許されない。責任をまっとうしてもらい必要がある。